



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒662-0977 西宮市神楽町5-23
 西宮YMCA内
 ☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2013年11月会報 第302号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Poul V. Thomsen (デンマーク)
 主題: "Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
 標語: "Extension, Extension, Extension."
 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本)
 主題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 標語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 高橋 稔彦 (岩国みなみ)
 主題:「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」
 "Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."
 標語:「経験がワイズを育みます」
 "Your experience makes you a good Y's man."
- 六甲部長 山田 滋己(神戸ポート)
 主題:「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」
 《一つ一つの楽しい活動を原点にして》
- 宝塚クラブ会長 石田 由美子
 主題:「交流こそワイズの楽しさ」

今月のテーマ:Public Relation Wellness

確かに塩は良いものだ。だが、塩も塩気を失ったとすれば、何によって味をつけられようか。畑にも肥料にも役にたたず、外に投げ捨てられて踏みつけられるだけである。

ルカ 14 章 34 節

2013年11月第1例会

日 時: 2013年11月13日(水)18:30
 場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費: 会員 3,000 円、会員外 3,500 円
 ドライバー 吉田 明
 水谷 恭子
 石田由美子会長
 全 員
 福田 宏子
 武田 寿子
 石田由美子会長
 会長・各委員長
 谷川 尚連絡主事

会 食
 お 話 「これからの神戸 YMCA」
 水野 雄二(神戸 YMCA 総主事)

誕生日のお祝い
 閉会点鐘 石田由美子会長

2013/14 役員	会 長 石田由美子 直前会長 長尾 亘 副会長 杉谷和代、福田宏子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部地域奉仕 環境事業主査 長尾 亘															
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 長尾 亘 地域奉仕・環境 山崎泰男 EMC 多胡葉子 交 流 杉谷和代 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘															
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸															
お誕生日 おめでとう!	樋之内 悟(11月4日) 多胡 進(11月26日)															
10 月 実 績	<table border="0"> <tr><td>在籍会員数</td><td>24名</td></tr> <tr><td>例会出席者数</td><td>28名</td></tr> <tr><td>うち会員数</td><td>17名</td></tr> <tr><td>出席率</td><td>70.8%</td></tr> <tr><td>メイクアップ(内数)</td><td>1名</td></tr> <tr><td>メネット</td><td>2名</td></tr> <tr><td>コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター9名</td><td></td></tr> </table>	在籍会員数	24名	例会出席者数	28名	うち会員数	17名	出席率	70.8%	メイクアップ(内数)	1名	メネット	2名	コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター9名		
	在籍会員数	24名														
例会出席者数	28名															
うち会員数	17名															
出席率	70.8%															
メイクアップ(内数)	1名															
メネット	2名															
コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター9名																
	<table border="0"> <tr><td>BFポイント</td><td>10月</td><td>4,900円</td></tr> <tr><td>累 計</td><td></td><td>14,852円</td></tr> <tr><td>にこにこBOX</td><td>10月</td><td>1,000円</td></tr> <tr><td>累 計</td><td></td><td>7,000円</td></tr> <tr><td>物品販売累計</td><td></td><td>4,000円</td></tr> </table>	BFポイント	10月	4,900円	累 計		14,852円	にこにこBOX	10月	1,000円	累 計		7,000円	物品販売累計		4,000円
BFポイント	10月	4,900円														
累 計		14,852円														
にこにこBOX	10月	1,000円														
累 計		7,000円														
物品販売累計		4,000円														

2013年10月第1例会

10月の第一例会は、著名なゲストスピーカーを迎えたこともあったのか、多数のゲストを迎え、10月9日の定時に石田会長の開会点鐘で幕をあげました。今月のゲストスピーカーは「ツレがうつになりまして」他多数の著作で知られている漫画家・イラストレーターの細川貂々さんとその代表作の主人公である「ツレ」の旦那さんとそのお子さん。ゲストには山田六甲部部长をはじめメンゴ紹介の方々に9名という大人数。

秋は行事も多いこともあり、会食中の話題にも事欠かないようで、バザーやコンサートなど会食の合間にもご紹介され、話も弾み和やかな雰囲気になったところでいよいよ本日のゲストスピーカーの時間に。



本日のテーマは「私と宝塚」。細川貂々さんと「ツレ」さんが前に登壇し、少し緊張した面持ちで「ツレ」さんが最初に自己紹介。貂々さんは元々は専門学校卒業後少女マンガ家としてデビューされたが、「ツレ」さんが鬱になられた体験をもとに「ツレがうつになりまして」を著作、それがテレビ「ちちんぷいぷい」に取り上げられたのをきっかけに大ブレイク。その代表作となった「ツレうつ」はNHKテレビドラマや映画（なんと主演はテレビが藤原紀香と原田泰三、そして映画は飛ぶ鳥を落とす勢いの宮崎あおいと堺雅人が演じられました・・・と

はにかみながらおっしゃっていました）にもなったとのこと。実はお二人とも関東の方だそうで、2011年3月の震災の時には千葉県浦安市に住まわれていたのだが、住んでいた家が液状化現象により、とりあえず関西に避難をしようというとき、貂々さんがかねてより大ファンであった宝塚に行こうと、長居するつもりも無くこちらに来たのが、ご家族の環境そして何より好きな「タカラヅカ」があることもあり、住み着いてしまったとのこと。

とここまで気づけば「ツレ」さんがひとりですっとお話をされて、貂々さんは相槌をうたれるという見事な配役。ここから「私と宝塚」のお話が始まるのですが、宝塚ではなく「タカラヅカ」のお話が・・・。貂々さんがいかにタカラヅカを愛しているかというお話なのですが、「ツレ」さんの熱い熱いトークで、本当にタカラヅカを愛しているのは「ツレ」さんなのかな、と思ってしまうほどの熱弁ぶり。小生は、宝塚在住40年ですが、市民としてタカラヅカを見に行っていないのはちょっと罪の意識を感じてしまいました。お話の最後には、これから発売予定の本の紹介。これからの展望として、お子さんを恵まれたこともあり絵本の仕事もしていきたいとのこと。目下の目標はお子さんが幼稚園卒園される時に自作の絵本をプレゼントすることだそうです。「ツレ」さんの熱弁、それを支える貂々さん、そしてユーモラスに間を与えてくれるお子さん、ご家族の暖かな様子が何よりも印象的なスピーチでした。これからの活躍もぜひタカラヅカいや宝塚の一員として楽しみでもあり、ぜひ応援したいと思えます。

誕生日のお祝いのあとは会長報告、事業部報告。秋はチャリティーランやじゃがいも販売とワイズにとっても多忙なときですが、皆さんが慣れた様子で現況とそれぞれのアピールをされました。締めくくりは少し筋肉痛の自称「元気印あらため無印良品」の石田会長による閉会点鐘で10月の例会を終えました。

谷川 尚

10月第2例会報告

11月16日(水曜日)18:30からハッピーハウスにて第2例会が行われ石田会長、福田(宏)、多胡、長尾、堀江、吉田、谷川各メンと今田メネットが出席した。議事要旨は次の通り。

1、例会運営について

- ①1月第1例会のゲストスピーカーに神戸YMCAの水野総主事を迎え今後のYMCAの働きについてお話を聴く事とした。
- ②石田会長より「楽しい例会実行委員会」(仮称)の設置及びこれに関連して例会の持ち方、ゲストへの対応について、提案が有り承認した。(内容については会長の報告を参照)

2、さんだクラブ20周年記念例会への出席者の確認(4名)又お祝いとして10000円を贈る事を承認した。

3、ブリテン11月号編集について

10月中に実施された諸行事の参加者リポートについて執筆者を決定、原稿締切は10月27日、発送は10月30日又、ブリテン発送先について再検討を行った。

4、チャリティーランについて

参加者の確認(8名)出店関係の食材、調理器具等の確認、配車の確認等を行った。又、ポップンキッズを含め当クラブから2チームを編成してランに参加することを決めた。福田(宏)メンの関係者も参加を検討中

5、その他

- ①ジャガイモ、配車について確認
- ②入院中の小島(規)メンより、クラブ宛に来信があったことが会長より報告があった。
- ③堀江メンよりNGO関係の報告があっ

た。関連して加盟団体に例会スピーカーを依頼してはどうかという意見があり、堀江メンが交渉に当たることとした。

(吉田)

「楽しい例会実行委員会(仮称)」

宝塚クラブの例会は雰囲気、お食事、講話内容、などワイズの中でも評価されています。

もっと楽しい、充実した例会にするために先月「楽しい例会実行委員会(仮称)」を作り、10月16日の役員会で承認されました。内容は以下の通りです。

1. 目的

会員の満足度を上げる、お迎えするゲストへのおもてなしを充実し、会員増強につなげる、と言う2点を再認識し、実施方法の具体的アイデアを積極的に提案・実施する

2. 具体案

- ①現行の例会進行順序を一部変更する
報告を食事の前に移動する(祈祷→報告→ゲスト・ビジター紹介→会食)
- ②報告を能率的に済ませるために、事前に会長あてにメールで知らせる報告数の把握により、時間配分が可能
- ③ゲスト、ビジターの席を事前に決め、ウェルカムカードを置くテンプレを作っておき当日マジックインクで名前を書く、紹介者と隣同士
- ④初めてのビジターにはネームカードの下に住所を書いてもらい、速やかにお礼状を書き、引き続きの出席をお願いする
- ⑤時間があれば最後に感想を伺う
- ⑥例会当日の役割を事前にアサインする(18:00迄に集合)お迎え係、テーブルへの案内係、お見送り係、
- ⑦ワイズメンズクラブ外のゲスト・ビジター

には開会時、ワイズ、例会進行を簡単に説明し、ワイズ用語を使わないように進行する

3. 実行委員長 会長 石田由美子
委員 交流事業委員長 杉谷和代、
交流事業委員 福田宏子
EMC 事業委員長 多胡葉子、
EMC 事業委員 鯖尻佳子

アイデアがありましたらお知らせください。
お手伝いのボランティアも募集します。

他クラブ訪問報告

「大阪土佐堀ワイズ訪問記」

9月17日(火)、久しぶりのY men'sクラブ、しかも他クラブ訪問で多少緊張しながらクラブ近くで石田会長と待ち合わせて開会30分前には到着。8月例会で石田会長をはじめ我が宝塚クラブご自慢フラティームの出演があった直後の例会とあって石田会長と私まで大変な歓迎を受けた。メネット月間ということでメネットの活躍ぶりが目立ち、明るく司会を務められたのもメネットで会場の雰囲気や和らげた。私たちはとても行き届いたご案内で着席。ゲストスピーカーの関係でゲストの出席も多くみられたが、宝塚もゲストのお席は前もって決めていただろうかと一瞬考えたが、ゲストへのホスピタリティーはとても大事でありクラブの印象を左右するものだと改めて感じた。岩田会長の誠実な進行によって前半部分は非常にスムーズに運びプログラムにと進んだ。男性メンの活気ある発表もあり元気なクラブだという印象も同時に受けた。

プログラムはゲストスピーチ：スピーカーは文岩優子氏、テーマは「ことばを拾うーオモニハッキョの風景」オムニとは「お母さん」ハッキョは「学校」の意味と知った。

文岩優子氏はご自身のおばさまの後を継いでこの活動にボランティアとして参加されていて、様々な事情から日本で教育を受ける機会を与えられなかった在日のオモニのための生野にある日本語学校風景を語られた。行政からの援助もなく、民間のボランティアだけで運営されている学校風景を聴き胸を打たれた。「言葉を拾う」とは教材もなく目に入る箱の文字とか紙きれの文字を拾いながら学んだことからこの言葉が使われたことを知り韓国人一世の苦勞がしのばれた。最初テーマを聴いた時にはあまり興味をもつものではないので多少出席に迷いはあったが、参加して本当に良かったと思ひ、このプログラムの企画をされた土佐堀クラブに感謝。大阪の生野といえば有名な韓国人の町。今まで近づくこともなくある距離を置いて過ごしてきたことを今更ながら反省している。何も知らないで距離を置くよりもまず知ることが理解につながり人の輪が広がることの大事さを痛感したプログラムだった。久々にすがすがしさの残る気持の例会だった。プログラムの後の恒例(?)のベテランオークショナー岡野氏のリードで楽しいオークションも例会を一層盛り上げ、またその後のちょっといい話(自慢話?アッピール?)がそれぞれの挙手で行われ、これも楽しい時間だった。みなさんが積極的に楽しみながら活動に参加しておられる元気なクラブである。今後も交流の意味でも積極的に参加したいと思った。

杉谷和代

「さんだワイズ 20周年に参加」

10月20日(日)午後2時から三田キッピースモールでさんだクラブの20周年の記念例会が開催された。

安行メンの司会のもと第一部はハンドベルの美しい音色に参加者のこころをなごませてくださった演奏からはじまりました。

第二部は神戸女学院の理事長で院長の森孝一

先生による「日本の常識・世界の常識～宗教から見た現在の世界情勢～」と題しての講演。

日本人は非宗教的であるが、キリスト教、仏教、イスラム教と色々な宗教がありその違いを共に楽しむことが大切との視点からのスピーチにその基本姿勢をもつYMCA、ワイズ活動の大切さを思わされました。

第三部は茶話会で神戸YMCA 水野総主事、六甲部山田部長、三田YMCAの清水さんの挨拶があり、リーダー達の活動報告を聞き、皆様方と交流のひと時を楽しみ、松本会長の閉会点鐘で解散となりました。

親クラブである宝塚クラブからは長尾、三品、福田宏、多胡の4人が寸志を持ってお祝いに参加いたしました。

多胡 葉子

2013年度 次期役員研修会 (次期六甲部部長として)

六甲部では輪番制で2014年7月～2015年6月まで宝塚クラブは部長職がまわってきました。その為に今回多胡が部長を拝命することになり、10月26日～27日にチサンホテル新大阪で開催された次期役員研修会にキャビネットの書記・若林、会計・堀江と3人が参加しました。若林、堀江さんは26日のみの参加。また、我々クラブからは主査講習の講師として石田メンが27日に参加。

昨年まではこの研修は1月に行われていたが、諸事情により10月に早められました。

研修は26日の1時から西日本区の現況報告、役員的心得、次期方針、キリスト教理解、国際的位置づけ、YMCA理解、議事進行の方法などなど、びっしりと内容の濃いプログラムに参加者一同緊張の面持ちで研修を受けました。諸先輩方のワイズ活動への熱い思いがよく伝わり、

次期役員としての意識付けが少しずつ備わって来る思いの研修会でした。今から準備をしながら六甲部の部長としての責務をこなして行くこととなりますが、クラブの皆様方のご支援、ご協力がなければ出来ない重責です。クラブ一同で引き受けた部長職と各自ご自覚いただき共に背負って行きましょう。

多胡 葉子

メネット活動について

クラブの例会に出席したり、メンの活動のお手伝いをするのがメネットの立場、役割であると理解して、消極的ではありますが、私なりにクラブとかかわってまいりました。

一昨年よりメネット連絡委員を仰せつかってからワイズメンのこと、メネットの活動についてなどを具体的に理解できるようになったと思います。

メネットの活動もクラブによって活発に行われているところ(メネット会を構成し独自の活動をされている)、そうでないところなど他クラブの状況などもミーティングに出席してわかってまいりました。そのような状況の中、今年の西日本区メネット事業のテーマである

「障害を持つ方に目を向けよう」を受けて六甲部では”きらりと輝くアート展“を開催しました。それぞれの知恵を結集し、一致団結して4日間のアート展を無事に終了できました。メネット各自のこれまでの経験や能力を大いに発揮してその働きぶりは大いに刺激になりました。

宝塚クラブのメネット活動は、5月のバザー、12月のキャロルを歌う夕べのお手伝い、親睦を図る手作り教室などを行っております。今後もメンの活動のサポートやメネット事業への積極的な参加を図っていきたいとおもいます。

福田素子

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

塩は古代から人の生活にとってなくてはならない物でした。海辺に住む人たちは海水を汲んで塩田をつくり、釜で煮て塩を作りました。いまでも「塩釜」の地名が残されているほどです。作られた塩を人は、塩をもたない山間部の人たちに売りに廻りました。「塩の道」と呼ばれる古い山道が這うように作られ、時には馬や牛が運搬に使われました。

海岸でとれた魚も塩漬けされて保存食として、山間部の生活者の食卓に上りました。「確かに塩は良いもの」です。イエスはこの塩を人そのものの存在にまで高めます。「もし塩が塩気を失ったとすれば」どうなるかと。人間の営みははでになればなるほど腐敗し始めるものです。

人のエゴイズムが幅をきかせ、強きが弱きを支配し、食い尽くしていくからです。だからこそ「塩」を必要とする。腐敗を食いとめる存在としての塩、それがお前たちの存在の意味だとイエスは弟子たちに語られます。ワイズもまたそうした存在としてあるということでしょう。「塩気を失った」塩とならないような自己反省を強いられます。



1. 秋の報告

西宮 YMCA では先日さわやかな気候の中、第 11 回となる保育園運動会を行いました。親子の結びつきや保育園での子どもの姿が伝わるものになったように感じました。今年は雨の多い秋ですが、幼稚園保育園の運動会、また現会館では最後となる三宮 YMCA のバザーも雨となったチャリティーゴルフも多くの参加を頂き無事に終了しております。

2. 神戸 YMCA 新会館準備状況

神戸市中央区脇浜町でのウエルネスセンターが、いよいよ 11 月に起工式、そして着工の運びとなっています。予定では 2014 年夏ごろ完成、その後オープンとなります。名称や新たなプログラム募集など、まだまだ課題はございますが、皆様のご理解をいただく中で進められていることを感謝いたします。

また現三宮会館については、2014 年 8 月末まで使用できることになりましたので、ウエルネスについては 7 月末まで使用することとし、その後脇浜町へ引越しを予定しています。新会館については、どのようなコンセプトにするかを、議論しつつ年内には決定していこうと準備中でございます。解体してからの着工となると、新会館完成はまだまだ遠いところではございますが、新たな時代の中で求められる YMCA となるよう皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

3. 今後の予定

- 1) YMCA セミナー「沢知恵チャペルコンサート」音楽を通して信仰・希望・愛を伝えられている、シンガーソングライターの沢知恵さんをお迎えして、歌を通して元気をいただき、本当の優しさを考えていきたいと企画いたしました。今回は児童養護施設など社会福祉施設にいらっしゃる方々もお招きして実施させていただきます。ぜひご参加ください。
 - ・日程：11月9日（土）14時～15時半
 - ・場所：神戸栄光教会
 - ・定員：300名
 - ・申込必要（078-793-7402）
- 2) 神戸 YWCA・YMCA 合同礼拝
毎年 11 月 2 週目は世界中の YMCA・YWCA で「世界合同祈禱週」と定めて、世界中の連なる皆様とともに祈りのときを持っています。今年のテーマは『神の求める「変革」となる』として、それぞれの場で祈りを捧げています。神戸で

はYWCAと合同で礼拝を行っています。
どなたでも自由に参加できます。
日程：11月12日（火）9時～10時
場所：神戸YWCA（神戸市中央区二宮町
1-12-10）

ご報告

- 3) 西宮YMCA ファミリースマイルアウト
ドアクッキング
西宮YMCAでは、地域の方々に向けて
オープンプログラムを実施していますが、
この秋は野外料理をテーマに行いま
す。ぜひお知り合いにもお勧めください。
- ・日程：11月24日9時～17時ごろ
 - ・場所：市ヶ原（集合解散は西宮北口）
 - ・定員：20家族
 - ・申込みは西宮YMCA（0798-35
-5987）へ

感謝とお願い

10月26日（土）ジャガイモが無事入荷
しました。心配された台風も東方に逸れ、ご協
力頂いたメンバーの皆様と、強力なリーダー
の応援を得て、完了しました。みなさんお疲
れ様でした。西宮YMCAのスタッフ及びリー
ダー抜きではこの事業は成り立ちません。
感謝です。また 入荷日以降商品をお引取
りの方は、必ず備え付けの引き取り表に記
入をお願いします。代金は第一例会にて集
金、又は振込み願います。

（振込先）みなと銀行 逆瀬川支店

普通預金口座 1603428

口座名 宝塚ワイズメンズクラブ

ジャガイモファンド

以上宜しくお願い致します。

ジャガイモ事業担当 福田 肇

我が宝塚クラブの長老、小島規似郎メンが
10月21日（月）、夕方、天に召されました。

小島規似郎メンは1972年大阪豊中クラ
ブに入会され、大阪YMCAを初めワイズダ
ムに貢献されてきました、宝塚ワイズに転
会され例会には休む事無く、いつもお元
気で西日本区大会や、六甲部部会、特に
今年の宝塚クラブ25周年記念例会のア
ピール活動を宝塚クラブのメンバーとし
て90歳とは思えない働きをして頂きま
した。ワイズのお手本を示して頂いた大
先輩です。しかし、ここ数カ月は入退院
されていまして、部会や新年会に出かけ
られる事も少なくなりました。特に今
期に入りまして殆ど例会に出席される事
が無く、ブリテンを送りメールで色々
アドバイスを頂いて居ました。

10月の第二例会では、お見舞いの事を
話していた矢先の突然の訃報に驚いてい
ます。

ご本人の強い遺志によりまして、前夜
式（10/22）、葬送式（10/23）は、ご
家族のみで執り行われました。

10月初めに頂いたお手紙には元気に
ワイズライフに戻る希望を持っておられ
ただけに、宝塚クラブメンバー同、驚
いています。



（前列がびわこ部会の小島規似郎メン）

神さまの側で安らかな眠りにつかれる事
と共に、お祈り下さい。

宝塚ワイズ一同